

科目名	介護の基本 I	担当講師	金古 英士
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	筆記試験 (100%)		
目標	<p>◎介護とは何かを歴史的な経過から介護が必要になった理由にふれながら、その成り立ちや考え方を理解し、生活支援としての介護の役割や専門性について理解する。</p> <p>◎私たちの生活について基本的な理解を深め、そのうえで一人ひとりの利用者の「生活ニーズ」を理解し、「その人らしさ」を大切にする介護のあり方について理解する。</p> <p>◎「尊厳を支える介護」の提供について、その考え方の理解を深めるとともに、介護職が行うさまざまな生活支援の意義について理解する。</p> <p>◎介護を展開するうえでかかわりの深い「ICF」「リハビリテーション」の考え方などについて理解する。</p>		
回	講義内容	方法	
1	介護の基本的な考え方 (理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護)	講義	
2	私たちの生活の理解 (生活とは何か、生活にとって大切な要素、生活の特徴)	講義	
3	高齢者や障害をもった人たちの暮らしと介護① (新たな社会的課題としての介護問題、高齢者の暮らしを支える介護)	講義	
4	高齢者や障害をもった人たちの暮らしと介護② (障害を持った人の暮らしを支える介護、QOLの視点の重視)	講義	
5	その人らしさと生活ニーズの理解① (その人らしさとは、その人らしさの背景、その人らしさを支える介護)	講義	
6	その人らしさと生活ニーズの理解② (価値観について考える)	講義	
7	その人らしさと生活ニーズの理解③ (生活ニーズの把握、個別支援の視点)	講義	
8	生活障害の理解 (生活障害の視点、生活障害の視点からとらえた認知症ケア)	講義	
9	生活環境のとらえ方 (身体拘束について考える)	講義	
10	生活環境の重要性① (利用者に合った生活の場、生活の利便性を向上させる道具と支援方法)	講義	
11	生活環境の重要性② (こころの健康を奪う生活環境、人的な生活環境の重要性、居場所づくりにおける介護の視点)	講義	
12	介護とは① (介護の成り立ち、日本における介護の成り立ち)	講義	

回	講 義 内 容	方 法
13	介護とは②（介護の概念・定義、介護課程の展開方法）	講 義
14	介護とは③（介護の見方・考え方の変化、介護問題の背景）	講 義
15	前期筆記試験（50%）・前期まとめ	試験・講義
16	生活支援としての介護とは①（介護の専門性、利用者に合わせて生活支援）	講 義
17	生活支援としての介護とは②（自立と自律に向けた支援）	講 義
18	生活支援としての介護とは③（介護サービスのあり方、自らの介護観を育むことの重要性、介護の仕事の本質的価値）	講 義
19	さまざまな生活支援とその意義①（介護職が行う生活支援、身体介護とその意義）	講 義
20	さまざまな生活支援とその意義②（家事援助とその意義）	講 義
21	生活支援ニーズを見出す相談援助とその意義	講 義
22	利用者・家族に対する精神的支援とその意義	講 義
23	尊厳を支える介護①（尊厳を支える介護とは、QOLの考え方）	講 義
24	尊厳を支える介護②（ノーマライゼーションの実現）	講 義
25	ICFの考え方①（介護におけるICFのとらえ方）	講 義
26	ICFの考え方②（ICFの視点に基づくアセスメント）	講 義
27	介護とリハビリテーション①（介護実践におけるリハビリテーションの考え方）	講 義
28	介護とリハビリテーション②（日常生活と社会生活の能力の維持・拡大への支援、リハビリテーション専門職との連携）	講 義
29	介護の基本Ⅰまとめ	講 義
30	後期筆記試験（50%）・後期まとめ	試験・講義
テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ 新・介護福祉士養成講座 16 資料編 その他必要に応じて資料配布予定	